社会科・公民科教育法Ⅱ

科目ナンバリング　ESS-306
教職　　選択　　2単位

増渕　達夫

1. 授業の概要（ねらい）

前期の「社会科・公民科教育法Ⅰ」及び後期の「社会科・公民科教育法Ⅱ」を通して、学習指導要領に示された中学校社会科、高等学校公民科の目標や内容等を理解し、具体的な授業場面を想定した学習指導案の作成等の知識・技能の基礎を習得するとともに、社会科・公民科の教員として必要な資質・能力を身に付けようとする態度を養うことをねらいとする。

後期の「社会科・公民科教育法Ⅱ」においては、高等学校公民科について、各科目の目標、内容等を理解する。また、新科目「公共」の目標や内容及び教科書の編集上の工夫などを理解するとともに、学習指導案の作成・検討により、指導目標を達成するための指導方法や教材・発問等の工夫について考察する。また、指導内容に関連する新聞記事の要約・発表等を通して社会科・公民科　教員として必要な知識を身に付ける。

2. 授業の到達目標

(1)前期に学修した内容を活用して、指示された単元及び一単位時間の学習指導案を作成できる。
(2)指導内容に関する教科書記述やその背景等を十分理解し、質問に対して的確に対応できる。
(3)指導目標を達成するためにICTの活用や教材、発問等を検討できる。
(4)学習評価の意義を理解し、観点別に評価規準を設定するとともに、適切な評価方法を指導案に反映できる。
(5)知識の習得だけにとどまることなく、思考力、判断力、表現力などを育成するための授業展開を考えるとともに、適切に評価するための方法等について考察することができる。
(6)社会科・公民科の指導の背景となる学問領域との関係を理解し、自ら課題を見つけ、学修行動の充実に反映できる。

3. 成績評価の方法および基準

(1)毎回の授業で提示される課題への取組（思考力、表現力等）30%
(2)中間レポート（学ぶ意義の自覚、表現力等）30%
(3)公民科の教員として求められる知識・理解に関するテスト（知識の理解）30%
(4)新聞記事の発表、授業での発言や参加状況（意欲、態度等）10%

4. 教科書・参考文献

教科書
田部俊充　他　大学生のための社会・地理歴史・公民科概論　風間書房
文部科学省　中学校学習指導要領（平成29年告示）　東山書房
文部科学省　高等学校学習指導要領（平成30年告示）　東山書房
文部科学省　中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編　東洋館出版社
文部科学省　高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編　東京書籍
間宮陽介　他　（高等学校検定済教科書）公共　東京書籍
竹内整一　（高等学校検定済教科書）倫理　東京書籍
間宮陽介　他　（高等学校検定済教科書）政治・経済　東京書籍
参考文献
授業の進行に応じて随時指示する

5. 準備学修の内容

(1)受講者全員で分担して、指導内容に関連した新聞記事を要約し、レポートにまとめて毎時間の授業の冒頭で発表する。そのため、新聞を読む習慣を身に付けること。
(2)本講座では、学習指導要領、学習指導要領解説、教科書の活用方法も学ぶ。学習指導要領等「4　教科書・参考文献」で指定した書籍を購入し、授業に持参することはもとより、内容を読み込み、十分理解すること。
(3)中学校や高等学校で使用する教科書の記述内容を理解し、指導案として再構成し、授業化できるようにするためには、関係の基本的文献を読み込むことが不可欠である。授業中に指示した文献は確実に読み、教科書記述の理解に役立てること。

6. その他履修上の注意事項

(1)30人を基準として、場合によっては抽選を行う。なお、学部の必修授業の関係で、履修の時限が限られている場合、担当教員に相談をすること。
(2)教職を志す学生としての自覚をもった学修への姿勢を強く求める。具体的には
　○　新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応をはじめ、健康管理や安全確保には万全を期する。
　○　体調不良等、やむを得ない理由により欠席する場合は、事前に授業担当者連絡する。事前にできない場合は事後速やかに連絡する。
　○　提出物は期限内に確実に提出する。期限内に提出できないときには事前に理由を添えて申告する。
　○　より良い授業にするために、授業中には積極的に発言するなど主体的に授業に臨む。
(3)社会科・公民科を学ぶ意義を生徒に伝えることができるよう、専門的な内容とともに幅広い教養を身に付けることに努める。
(4)本講座は、教科指導力の基盤の育成を目指している。教科指導力の向上は、教員が生涯を通して取り組むべき課題であることから、自らを律し、貪欲に学ぶ姿勢を厳しく求める。

7. 授業内容

【第1回】　○　オリエンテーション
　（シラバスの確認、履修上の注意、分担等）
　○　学習指導要領改訂の趣旨と高等学校公民科の目標、「公共」の目標、内容、内容の取扱い等(1)
【第2回】　○　新聞記事の紹介と解説（以後、この内容は毎回実施する）
　○　オリエンテーション
　（シラバスの確認、履修上の注意、分担等）
　○　学習指導要領改訂の趣旨と高等学校公民科の目標、「公共」の目標、内容、内容の取扱い等(2)
【第3回】　○　「公共」の大項目A「公共の扉」の内容(1)【講義】
　○　教科書記述の確認と、授業の準備（教科書第1章）【演習】

【第4回】　○　「公共」の大項目A「公共の扉」の内容(2)【講義】
　　○　教科書記述の確認と、授業の準備(教科書第2章、第3章)【演習】

【第5回】　○　「公共」の大項目B「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の内容(1)【講義】
　　○　教科書記述の確認と、授業の準備(教科書第1章、第2章)【演習】
【第6回】　○　「公共」の大項目B「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の内容(2)【講義】
　　○　教科書記述の確認と、授業の準備(教科書第3章、第4章、第5章)【演習】
【第7回】　○　「公共」の大項目C「持続可能な社会づくりの主体と私たち」の内容【講義】
　　○　教科書記述の確認と、授業の準備【演習】
【第8回】　○　「倫理」の目標、内容、内容の取扱い等【講義】
【第9回】　○　「政治・経済」の目標、内容、内容の取扱い等【講義】
【第10回】　○　「公共」第1部「『公共』のとびら」指導案の検討(1)【演習】
【第11回】　○　「公共」第2部「自立した主体として社会に参画する私たち」指導案の検討(1)【演習】
【第12回】　○　「公共」第2部「自立した主体として社会に参画する私たち」指導案の検討(2)【演習】
【第13回】　○　「公共」第3部「持続可能な社会づくりに参画するために」の指導について【演習】
【第14回】　(LMSによるオンライン授業)
　　○　公民科の教員として求められる知識・理解に関するテスト
【第15回】　○　テストの解説及び基本的な教科指導力の習得に向けた課題【講義】